

	チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	卒業必修	幼 一 免	幼 二 有	小 二 有	履 修 期				備 考
									3年	4年	春	秋	
全学 共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○				○	○	○	○	1. 幼稚園教員養成コースは、幼稚園教諭一種免許状取得が卒業要件なので、下記項目に従い履修すること。
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○				○	○	○	○	
学 科 目 必 修	☐	児童学概論		2	○				○				(1) 幼稚園教員養成コース(幼稚園免許群)の編入学生は、卒業必修欄に○印を付された科目と7領域より1領域10単位必修。(計78単位)
	☐	3年次ゼミ	演	2	○				○				
	☐	卒業研究		3	○						○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ ☆	演	1	○				○	○	○	○	
	☐	幼児と健康		1	○	○	A	A	○				
コ ー ス 必 修 科 目	☐	幼児と環境		1	○	○	A	A		○			(2) 幼稚園教諭二種免許状を所有している人は、 1. 全学共通科目2単位・学科必修科目8単位 2-1「幼二有」欄に○印の付された科目 2-2.A印を付された科目より2単位以上 2-3.B印を付された科目より二種免許取得時に修得していない科目を含み6単位以上 2-4.C印を付された科目より2単位以上 2-1～4の要件を含み、「幼一免」欄に○印を付された科目の修得単位が合計20単位以上 3.7領域より1領域10単位必修。 4. 上記1～3に加え、幼稚園教員養成コース及び他コースの専門科目から22単位以上履修し、計62単位以上単位を修得すること。 尚、履修すべき授業科目は幼稚園教諭一種免許状取得に必要な科目(別表5)と編入学前の学校の基礎資格及び単位修得証明書を参照のこと。
	☐	幼児と人間関係		1	○	○	A	A			○		
	☐	幼児と言葉		1	○	○	A	A				○	
	☐	音楽実技	実	2	○	○	○	○	○	○			
	☐	幼児と音楽表現Ⅲ	実	2	○	○	○	○			○	○	
	☐	幼児と音楽表現Ⅰ	演	1	○	○	A	A	○				
	☐	幼児と音楽表現Ⅱ	演	1	○	○	A	A		○			
	☐	幼児と造形表現Ⅰ	演	1	○	○	A	A	○				
	☐	幼児と造形表現Ⅱ	演	1	○	○	A	A		○			
	☐	幼児と身体表現Ⅰ	演	1	○	○	A	A	○				
	☐	幼児と身体表現Ⅱ	演	1	○	○	A	A		○			
	☐	保育内容総論	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法Ⅰ(健康)	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法Ⅱ(健康)	演	1	○	○	B	B		○			
	☐	保育内容指導法Ⅲ(人間関係)	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法Ⅳ(人間関係)	演	1	○	○	B	B		○			
	☐	保育内容指導法Ⅴ(環境)	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法Ⅵ(環境)	演	1	○	○	B	B		○			
	☐	保育内容指導法Ⅶ(言葉)	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法Ⅷ(言葉)	演	1	○	○	B	B		○			
	☐	保育内容指導法Ⅸ(音楽表現)	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法Ⅹ(音楽表現)	演	1	○	○	B	B		○			
	☐	保育内容指導法ⅩⅠ(造形表現)	演	1	○	○	B	B	○				
	☐	保育内容指導法ⅩⅡ(造形表現)	演	1	○	○	B	B		○			
	☐	児童文化演習Ⅰ～1	演	1	○	○	○	○			○		
	☐	児童文化演習Ⅰ～2	演	1	○	○	○	○				○	
	☐	児童文化演習Ⅱ～1	演	1	○	○	○	○				○	
	☐	教育原理		2	○	○	C	C	●	●			
	☐	保育原理Ⅰ		2	○	○		○		○			
	☐	教職入門		2	○	○			○				
	☐	教育社会学		1	○	○	C		●	●			
	☐	発達心理学		2	○	○	C	C	●	●			
	☐	特別支援教育総論		2	○	○	○	○					
	☐	保育・教育課程論		2	○	○					○		
	☐	教育方法学		2	○	○		C	○				
	☐	幼児理解,保育相談		2	○	○		○	○				
	☐	教育相談		2	○	○			○				
	☐	保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2	○	○						○	
	☐	幼児教育実習Ⅰ		1	○	○		○	○		○		
	☐	幼児教育実習Ⅱ	実	2	○	○		○	○				
	☐	幼児教育実習Ⅲ	実	2	○	○		○			○		
													(4) その他、前籍校での修得単位を個別に認定することがある。

チェック欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	卒業必修	幼 一 免	幼 二 有	小 二 有	履 修 期				備 考
								3年		4年		
								春	秋	春	秋	
コ ー ス 専 門 科 目	【幼児教育指導法開発領域】											(5)編入学前に次の科目を履修していない人は、卒業必修科目とは別に、以下のとおり履修すること。
	☐ 幼児と自然体験		2							●	●	・体育 2単位 ⇒ 基礎専門体育Ⅰ、Ⅱ
	☐ 文芸創作演習		2							●	●	・外国語科目 2単位 ⇒ 英語Ⅰ、Ⅱ
	☐ 遊具と遊び		2							●	●	・情報活用科目 2単位 ⇒ 情報活用演習(基礎・教職)
	☐ 行事運営実践		2							●	●	・日本国憲法 2単位 ⇒ 日本国憲法
	☐ 危機管理演習		2							●	●	
	【乳児保育領域】											
	☐ 赤ちゃん学概論		2							●	●	
	☐ 現代保育課題研究		2							●	●	
	☐ 乳児保育の実践演習		2							●	●	
	☐ 乳児期とメディア		2							●	●	
	☐ 子育て支援と現代育児論		2							●	●	
	【音楽表現領域】											
	☐ 音遊び・手遊び		2							●	●	
	☐ オペレッタ・ミュージカル		2							●	●	
	☐ 歌唱指導・わらべうた		2							●	●	
	☐ ボディパーカッション・楽器遊び		2							●	●	
	☐ リトミック		2							●	●	
	【造形表現領域】											
	☐ 立体表現		2							●	●	
	☐ 平面表現		2							●	●	
	☐ 造形表現デザイン		2							●	●	
	☐ 幼児と文化財		2							●	●	
	☐ 造形指導法		2							●	●	
	【インクルーシブ保育領域】											
	☐ 障害児・者の権利論		2							●	●	
	☐ 障害文化論		2							●	●	
	☐ ライフステージ支援研究		2							●	●	
	☐ 医療・保育連携論		2							●	●	
	☐ インクルーシブ保育研究		2							●	●	
	【多文化保育領域】											
	☐ 保育における多文化理解		2							●	●	
	☐ 世界の子どもの生活と文化		2							●	●	
	☐ 異文化間コミュニケーション論		2							●	●	
	☐ 保育における外国語活動		2							●	●	
	☐ 世界の就学前教育		2							●	●	
【運動・健康領域】												
☐ 子どもの発達・発育と運動論		2							●	●		
☐ 運動遊び研究		2							●	●		
☐ 遊具での運動遊びと安全		2							●	●		
☐ 子どもの自然活動基礎論		2							●	●		
☐ 運動行事研究		2							●	●		
計			128	76								

【授業の方法】 演：演習 実：実験・実習 無印：講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

	チ エ ッ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	保 育 士	履 修 期				備 考
							3年		4年		
							春	秋	春	秋	
全学 共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○		○	○	○	○	☆”キャリアデザインⅡ”履修登録は不要となります。
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○		○	○	○	○	
	☐	小笠原流礼法基礎講座		2	○	○			○		
学 科 目 必 修	☐	児童学概論		2	○		○				
	☐	3年次ゼミ	演	2	○		○	○			
	☐	卒業研究		3	○				○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ ☆	演	1	○		○	○	○	○	
コ ー ス 必 修 科 目	☐	子ども家庭福祉		2	○	○	○				1.保育士養成コースは、保育士資格取得が卒業要件であるから、下記項目に従い履修すること。
	☐	社会福祉学Ⅰ		2	○	○	○				
	☐	社会的養護Ⅰ		2	○	○	○				
	☐	社会的養護Ⅱ	演	1	○	○	○				2. 保育士養成コースの編入学生は、卒業必修欄に○印を付された科目と7領域より1領域10単位必修。(計92単位)
	☐	保育の心理学		2	○	○	○				
	☐	子どもの理解と援助		1	○	○			○		
	☐	子どもの保健		2	○	○	○				3.保育実習Ⅱ(保育所)・保育実習指導Ⅱ(保育所)または保育実習Ⅲ(施設)・保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組み合わせを選択すること。
	☐	子どもの健康と安全		1	○	○			○		
	☐	子どもの食と栄養	演	2	○	○			○		
	☐	子ども家庭支援の心理学		2	○	○			○		4.編入学前に次の科目を履修していない人は、以下のとおり履修すること。 ・体育 2単位 ⇒ 基礎専門体育Ⅰ 及び 基礎専門体育Ⅱ ・外国語科目 2単位 ⇒ 英語Ⅰ、Ⅱ ・日本国憲法 2単位
	☐	子ども家庭支援論		2	○	○			○		
	☐	子育て支援		1	○	○			○		
	☐	保育・教育課程論		2	○	○			○		5.各科目の履修期については、学期毎に配布する時間割表を確認すること。
	☐	乳児保育Ⅰ		2	○	○			○		
	☐	乳児保育Ⅱ		1	○	○			○		
	☐	障害児保育		2	○	○			○		
	☐	教職入門		2	○	○		○			
	☐	教育原理		2	○	○	○				
	☐	保育原理Ⅰ		2	○	○		○			
	☐	保育実習Ⅰ(保育所)	実	2	○	○		○			
	☐	保育実習Ⅰ(施設)	実	2	○	○		○			
	☐	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2	△	△			○		
	☐	保育実習Ⅲ(施設)	実	2	△	△			○		
	☐	保育実習指導Ⅰ	演	2	○	○	○	○			
	☐	保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1	△	△			○		
	☐	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1	△	△			○		
	☐	音楽実技	実	2	○	○	○	○			
	☐	幼児と音楽表現Ⅲ	実	2	○	○			○	○	
	☐	幼児と音楽表現Ⅰ	演	1	○	○	○				
	☐	幼児と音楽表現Ⅱ	演	1	○	○		○			
	☐	幼児と造形表現Ⅰ	演	1	○	○	○				
	☐	幼児と造形表現Ⅱ	演	1	○	○		○			
	☐	幼児と身体表現Ⅰ	演	1	○	○	○				
	☐	幼児と身体表現Ⅱ	演	1	○	○		○			
	☐	保育内容総論	演	1	○	○	○				
	☐	保育内容指導法Ⅰ(健康)	演	1	○	○	○				
☐	保育内容指導法Ⅱ(健康)	演	1	○	○		○				
☐	保育内容指導法Ⅲ(人間関係)	演	1	○	○	○					
☐	保育内容指導法Ⅳ(人間関係)	演	1	○	○		○				
☐	保育内容指導法Ⅴ(環境)	演	1	○	○	○					
☐	保育内容指導法Ⅵ(環境)	演	1	○	○		○				

	チ エ ッ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	保 育 士	履 修 期				備 考	
							3年		4年			
							春	秋	春	秋		
コ ー ス 必 修 科 目	☐	保育内容指導法Ⅶ(言葉)	演	1	○	○	○					
	☐	保育内容指導法Ⅷ(言葉)	演	1	○	○		○				
	☐	保育内容指導法Ⅸ(音楽表現)	演	1	○	○	○					
	☐	保育内容指導法Ⅹ(音楽表現)	演	1	○	○		○				
	☐	保育内容指導法ⅩⅠ(造形表現)	演	1	○	○	○					
	☐	保育内容指導法ⅩⅡ(造形表現)	演	1	○	○		○				
	☐	保育・教職実践演習(幼稚園)	演	2	○	○				○		
	☐	児童文化演習Ⅰ～1	演	1	○	○			○			
	☐	児童文化演習Ⅰ～2	演	1	○	○			○			
	☐	児童文化演習Ⅱ～1	演	1	○	○				○		
コ ー ス 専 門 科 目		【医療保育領域】										
	☐	医療保育概論		2						●	●	
	☐	保育士に必要な医学的知識		2						●	●	
	☐	病棟保育の実践		2						●	●	
	☐	病児保育の実践		2						●	●	
	☐	医療保育とセーフティマネジメント		2						●	●	
		【乳児保育領域】										
	☐	赤ちゃん学概論		2						●	●	
	☐	現代保育課題研究		2						●	●	
	☐	乳児保育の実践演習		2						●	●	
	☐	乳児期とメディア		2						●	●	
	☐	子育て支援と現代育児論		2						●	●	
		【音楽表現領域】										
	☐	音遊び・手遊び		2						●	●	
	☐	オペレッタ・ミュージカル		2						●	●	
	☐	歌唱指導・わらべうた		2						●	●	
	☐	ボディパーカッション・楽器遊び		2						●	●	
	☐	リトミック		2						●	●	
		【造形表現領域】										
	☐	立体表現		2						●	●	
	☐	平面表現		2						●	●	
	☐	造形表現デザイン		2						●	●	
	☐	幼児と文化財		2						●	●	
	☐	造形指導法		2						●	●	
		【インクルーシブ保育領域】										
	☐	障害児・者の権利論		2						●	●	
	☐	障害文化論		2						●	●	
	☐	ライフステージ支援研究		2						●	●	
	☐	医療・保育連携論		2						●	●	
	☐	インクルーシブ保育研究		2						●	●	
		【多文化保育領域】										
	☐	保育における多文化理解		2						●	●	
	☐	世界の子どもの生活と文化		2						●	●	
	☐	異文化間コミュニケーション論		2						●	●	
	☐	保育における外国語活動		2						●	●	
	☐	世界の就学前教育		2						●	●	
		【運動・健康領域】										
	☐	子どもの発育・発達と運動論		2						●	●	
	☐	運動遊び研究		2						●	●	
	☐	遊具での運動遊びと安全		2						●	●	
	☐	子どもの自然活動基礎論		2						●	●	
	☐	運動行事研究		2						●	●	
計				145	92							

【授業の方法】 演:演習 実:実験・実習 無印:講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

	チ エ ッ ク 欄	授 業 科 目	授業の方法	単 位	卒業必修	認定心理士	ピアヘルパー	履 修 期				備 考
								3年		4年		
								春	秋	春	秋	
全学共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○			○	○	○	○	1. 児童心理コースの編入学生は、卒業必修欄に○印を付された科目と同コース専門科目から30単位履修すること。また、加えて同コース及び他コースの専門科目から22単位以上履修し、計62単位以上単位を修得すること。 2. 各科目の履修期については、学期毎に配布する時間割表を確認すること。 ピアヘルパーは、※印より2科目必修
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○			○	○	○	○	
	☐	小笠原流礼法基礎講座		2								
学科必修	☐	児童学概論		2	○			○				
	☐	3年次ゼミ	演	2	○			○	○			
	☐	卒業研究ゼミ		3	○	○				○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ	演	1	○			○	○	○	○	
コース専門科目	☐	心理学概論		2	30単位選択必修	○		○				
	☐	心理学基礎実験Ⅰ	実	1		○		○				
	☐	心理学基礎実験Ⅱ	実	1		○			○			
	☐	心理統計法Ⅰ		2		○			○			
	☐	心理統計法Ⅱ	演	1		○				○		
	☐	心理学研究法Ⅰ	演	2		○		○				
	☐	心理学研究法Ⅱ	演	2		○			○			
	☐	心理検査法実習Ⅰ	演	1		○			○			
	☐	心理検査法実習Ⅱ	演	2		○				○		
	☐	乳幼児心理学		2		○		○				
	☐	児童心理学		2		○	※	○				
	☐	青年心理学		2		○	※	○				
	☐	認知心理学		2		○		○				
	☐	教育心理学		2		○	※		○			
	☐	社会心理学		2		○			○			
	☐	人格心理学		2		○		○				
	☐	臨床心理学		2		○	※	○				
	☐	児童精神医学		2			※			○		
	☐	特別支援教育総論		2			※		○			
	☐	カウンセリング心理学		2		○	○		○			
	☐	心理療法面接実習Ⅰ	演	1		○	※		○			
	☐	心理療法面接実習Ⅱ	演	1		○	○			○		
	☐	家族心理学		2		○				○		
計					40							

【授業の方法】 演:演習 実:実験・実習 無印:講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

	チ エ ッ ク 欄	授 業 科 目	授 業 の 方 法	単 位	卒 業 必 修	履 修 期				備 考
						3年		4年		
						春	秋	春	秋	
全学 共通	☐	聖徳教育Ⅰ		1	○	○	○	○	○	1. 児童文化コースの編入学生は卒業必修欄に○印を付された科目に加えて、他コースの専門科目を16単位以上履修し、計62単位以上単位を修得すること。 2. 各科目の履修期については、学期毎に配布する時間割表を確認すること。 ★の科目から2科目以上を選択履修すること。
	☐	聖徳教育Ⅱ		1	○	○	○	○	○	
	☐	小笠原流礼法基礎講座		2						
学 科 目 必 修	☐	児童学概論		2	○	○				
	☐	3年次ゼミ	演	2	○	○	○			
	☐	卒業研究ゼミ		3	○			○	○	
	☐	キャリアデザインⅡ	演	1	○	○	○	○	○	
コ ー ス 必 修 科 目	☐	野外活動論		2	○	○				
	☐	生涯学習とボランティア活動		2	○	○				
	☐	子どものための地域活動	演	2	○		○			
	☐	レクリエーション基礎演習	演	1	○	○				
	☐	生涯学習論		2	○				○	
	☐	こどもビジネスの世界	演	2	○	○				
	☐	児童文化概論		2	○	○				
	☐	絵本		2	○	○				
	☐	昔話・わらべうた		2	○		○			
	☐	伝承遊び	演	1	○		○			
	☐	児童文化実習	実	2	○	○	○			
	☐	児童文学		2	○		○			
	☐	玩具・遊具		2	○			○		
	☐	造形ワークショップ	演	1	○	○				
	☐	絵画表現基礎		2	○			○		
	☐	写真・映像表現	演	1	○				○	
	☐	マンガ・アニメ論Ⅰ		2	○				○	
	☐	リズム遊び	演	1	○		○			
	☐	身体とリズム	演	1	○	○				
	☐	児童文化実践演習	演	2	○				○	
☐	舞台芸術演習	演	1	★			●			
☐	子どものための演奏	演	1	★			●			
☐	子どもとことば		1	★			●			
☐	マンガ・アニメ論Ⅱ	演	1	★			●			
選 択 科 目	☐	レクリエーション概論		2						レクリエーションインストラクター科目
	☐	レクリエーション実習Ⅰ	実	1						レクリエーションインストラクター科目
	☐	レクリエーション事業参加		1						レクリエーションインストラクター科目
計					46					

【授業の方法】 演:演習 実:実験・実習 無印:講義をさす。

【履修期】 履修期の○印は開講時期をさす。

教科及び教職に関する科目及び必要な事項		授業科目	単位数	①免許なし	②幼二免あり	③小二免あり	備考
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	☐ 幼児と健康	1	◎	A	A	1. 児童心理コースの学生は、◇印の科目について次のように充当することができます。カウンセリング心理学→教育相談 2. 編入学前に次の科目を履修していない人は、以下のとおり履修すること。 ・体育 2単位 → 基礎専門体育Ⅰ、Ⅱ ・外国語科目 2単位 → 英語Ⅰ、Ⅱ ・情報活用科目 2単位 → 情報活用演習(基礎・教職) ・日本国憲法 2単位 → 日本国憲法 3. 小一免と幼一免を両方取得する場合は、幼一免の必修科目である保育内容指導法Ⅰ～ⅩⅡのうち半数(6単位)は、小一免の必修科目である各教科教育法及び特別活動の指導法の単位取得をもって履修を免除することができる。ただし、保育士資格を取得する場合は、この限りでない。
		☐ 幼児と環境	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と人間関係	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と言葉	1	◎	A	A	
		☐ 音楽実技	2	◎	◎	◎	
		☐ 幼児と音楽表現Ⅲ	2	◎	◎	◎	
		☐ 幼児と音楽表現Ⅰ	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と音楽表現Ⅱ	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と造形表現Ⅰ	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と造形表現Ⅱ	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と身体表現Ⅰ	1	◎	A	A	
		☐ 幼児と身体表現Ⅱ	1	◎	A	A	
	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	☐ 保育内容総論	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅰ(健康)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅱ(健康)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅲ(人間関係)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅳ(人間関係)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅴ(環境)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅵ(環境)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅶ(言葉)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅷ(言葉)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅸ(音楽表現)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法Ⅹ(音楽表現)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法ⅩⅠ(造形表現)	1	◎	B	B	
		☐ 保育内容指導法ⅩⅡ(造形表現)	1	◎	B	B	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	☐ 教育原理	2	◎	C	C	
		☐ 保育原理Ⅰ	2	◎		◎	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	☐ 教職入門	2	◎			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	☐ 教育社会学	1	◎	C		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	☐ 発達心理学	2	◎	C	C	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	☐ 特別支援教育総論	2	◎	◎	◎	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	☐ 保育・教育課程論	2	◎			
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	☐ 教育方法学	2	◎		C	
	幼児理解の理論及び方法	☐ 幼児理解、保育相談	2	◎		◎	
教育実践に関する科目	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	☐ 教育相談	◇ 2	◎			
	教育実習	☐ 幼児教育実習Ⅰ	1	◎		◎	
		☐ 幼児教育実習Ⅱ	2	◎		◎	
		☐ 幼児教育実習Ⅲ	2	◎		◎	
	教職実践演習	☐ 教職実践演習(幼稚園)	2	◎			

(1) 小学校、幼稚園教諭のいずれの免許状も所有していない人は、開設授業科目について次のように履修すること。(①免許なし欄参照)

1. ◎印の付された科目はすべて履修。

(2) 幼稚園教諭二種免許状を所有している人は、開設授業科目について次のように履修すること。(②幼二免あり欄参照)

- ◎印の付された科目はすべて必修。
- A印を付された科目より2単位以上選択必修。
- B印を付された科目より二種免許取得時に修得していない教科を含み6単位以上選択必修。
- C印を付された科目より2単位以上選択必修。
- 1～4の条件を含み、上記すべての科目の修得単位が合計20単位以上になるように履修すること。(無印の科目も含む)

(3) 小学校教諭二種免許状を所有している人は開設授業科目について次のように履修すること。(③小二免あり欄参照)

- ◎印の付された科目はすべて必修。
- A印を付された科目より2単位以上選択必修。
- B印を付された科目より6単位以上選択必修。
- C印の付された科目より2単位以上選択必修。
- 1～4の条件を含み、上記すべての科目の修得単位が合計33単位以上になるように履修すること。(無印の科目も含む)

No.	修得欄	授業科目	単位数	備 考
1	☐	小笠原流礼法基礎講座	2	1. ☆保育実習Ⅱ(保育所)・☆保育実習指導Ⅱ(保育所)または★保育実習Ⅲ(施設)・★保育実習指導Ⅲ(施設)いずれかの組み合わせを選択すること。 2. 編入学前に次の科目を履修していない人は、以下のとおり履修すること。 ・体育 2単位 ⇒ 基礎専門体育Ⅰ及び基礎専門体育Ⅱ ・外国語科目 2単位 ⇒ 英語Ⅰ、Ⅱ ・日本国憲法
2	☐	子ども家庭福祉	2	
3	☐	社会福祉学Ⅰ	2	
4	☐	社会的養護Ⅰ	2	
5	☐	社会的養護Ⅱ	1	
6	☐	保育の心理学	2	
7	☐	子どもの理解と援助	1	
8	☐	子どもの保健	2	
9	☐	子どもの健康と安全	1	
10	☐	子どもの食と栄養	2	
11	☐	子ども家庭支援の心理学	2	
12	☐	子ども家庭支援論	2	
13	☐	子育て支援	1	
14	☐	保育・教育課程論	2	
15	☐	乳児保育Ⅰ	2	
16	☐	乳児保育Ⅱ	1	
17	☐	障害児保育	2	
18	☐	教職入門	2	
19	☐	教育原理	2	
20	☐	保育原理Ⅰ	2	
21	☐	保育実習Ⅰ(保育所)	2	
22	☐	保育実習Ⅰ(施設)	2	
23	☐	保育実習Ⅱ(保育所)	☆ 2	
24	☐	保育実習Ⅲ(施設)	★ 2	
25	☐	保育実習指導Ⅰ	2	
26	☐	保育実習指導Ⅱ(保育所)	☆ 1	
27	☐	保育実習指導Ⅲ(施設)	★ 1	
28	☐	音楽実技	2	
29	☐	幼児と音楽表現Ⅲ	2	
30	☐	幼児と音楽表現Ⅰ	1	
31	☐	幼児と音楽表現Ⅱ	1	
32	☐	幼児と造形表現Ⅰ	1	
33	☐	幼児と造形表現Ⅱ	1	
34	☐	幼児と身体表現Ⅰ	1	
35	☐	幼児と身体表現Ⅱ	1	
36	☐	保育内容総論	1	
37	☐	保育内容指導法Ⅰ(健康)	1	
38	☐	保育内容指導法Ⅱ(健康)	1	
39	☐	保育内容指導法Ⅲ(人間関係)	1	
40	☐	保育内容指導法Ⅳ(人間関係)	1	
41	☐	保育内容指導法Ⅴ(環境)	1	
42	☐	保育内容指導法Ⅵ(環境)	1	
43	☐	保育内容指導法Ⅶ(言葉)	1	
44	☐	保育内容指導法Ⅷ(言葉)	1	
45	☐	保育内容指導法Ⅸ(音楽表現)	1	
46	☐	保育内容指導法Ⅹ(音楽表現)	1	
47	☐	保育内容指導法ⅩⅠ(造形表現)	1	
48	☐	保育内容指導法ⅩⅡ(造形表現)	1	
49	☐	教職実践演習(幼稚園)	2	
50	☐	児童文化演習Ⅰ～1	1	
51	☐	児童文化演習Ⅰ～2	1	
52	☐	児童文化演習Ⅱ～1	1	
			72	